

別表

(仮称) 奥日光交通ビジョン作成業務委託 評価基準

- 1 評価項目及び各項目の配点は、次のとおりとし、各選定委員（6名）が採点する。
- 2 企画提案者の中で各選定委員による評価の合計点の平均点が最も高い者を契約候補者とする。
- 3 2の場合において、平均点の最も高い提案書が複数あった場合は、選定委員会で審議の上、契約候補者を特定する。
- 4 各選定委員による評価の合計点の平均点が66点未満の場合は、当該企画提案書を契約候補者として選定しない。企画提案者が1者の場合も同様とする。

(110点満点)

評価項目	評価の着目点			評価配点
	判断基準			
ヒアリング	専門技術力	専門技術力の確認	実績として挙げた業務の担当分野に、中心的・主体的に参画したことが伺える場合に優位に評価する。	10
	取組姿勢	業務への取組意欲	提案内容に関する補足説明が明確で、取組意欲が強く感じられる場合に優位に評価する。	10
	コミュニケーション力	質問に対する応答性	質問に対する応答が明快、かつ迅速な場合に優位に評価する。	10
実施方針 業務加 工程計画 その他	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	5
	実施手順	業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		5
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。		5
	その他		有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	5
企画提案	適合性	業務委託の目的を達成するために必要な検討の範囲と内容になっている場合に優位に評価する。		10
		奥日光地域の特性及び実情に適合した提案を優位に評価する。		10
	的確性	交通の将来像の検討にあたり、検討プロセスや分析手法が、多様な視点に基づき体系的に構成されている場合に優位に評価する。		10
		交通ネットワーク等の現況整理からビジョン策定に至る過程が分かりやすく、明確に表現されている提案を優位に評価する。		10
	実現性	関係するステークホルダーおよび必要な調整事項の整理手法が具体的に示されている提案を優位に評価する。		10
		各種取組の実現に向けた根拠が明確であり、実施に必要な調査・手続等の整理手法が具体的に示されている提案を優位に評価する。		10
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れているか、または提案内容に対して見積もりが不適切な場合には特定しない。	数値化しない